

経営体の概要

- 所在地：宮崎県
- 経営体：酪農経営
- 飼養頭数：経産牛約80頭(搾乳牛約60頭)、育成牛約30頭
- 従事者数：4名（経営主夫婦、両親）

導入技術

- 搾乳ロボット：LELY社製（オランダ） アストロノートA4
- ソフトウェア：アストロノート専用飼養管理ソフト「T 4 C」



LELY社製搾乳ロボット



タッチパネル式モニター



搾乳を待つために列を作る牛



搾乳の様子

導入経緯

- 将来を見据え、子ども達が見て、やりたいと思える酪農経営実現のための先行投資と考え、フリーストール牛舎の新設と搾乳ロボットを導入（活用事業：畜産クラスター事業）。

取組の特徴・効果

- 搾乳ロボットの導入によりフリーストール牛舎となったことから、これまでの繋ぎ牛舎との飼養の違いに苦労したものの、これまで朝夕1日2回ミルカーにより家族総出で搾乳していた労働時間（約2時間×2回）の削減が図られ、**特に両親への負担が解消されたことにより、家族経営による規模拡大が可能に。**

【飼養規模の拡大（搾乳牛）】

70頭（R元） → 80頭（R4）

- フリーストール牛舎による快適な環境と搾乳ロボットにより牛が搾りたいタイミングで昼夜問わず搾乳が可能になり、1日1頭当たり平均乳量が増加した。

・約30kg → 約35kg（R4.12月時点）

- 牛を観る時間が増えるとともに、搾乳ロボットの反芻時間等のデータにより、これまで以上に牛群の健康管理が可能になった。